

# コロニー中央病院だより

## 平成20年度方針

中央病院長 宮崎 修次

私は4月から病院長に就任しました。よろしくお願い申し上げます。

当院が主に対象としている発達に影響を及ぼす疾病は、多彩な症状を呈することが多いので、各診療科とも総合的に診断及び治療するよう心がけています。そして、随伴しておきる障害を予防しその軽減を図るとともに、年齢や障害の程度に応じた日常生活の指導や訓練指導を行っています。

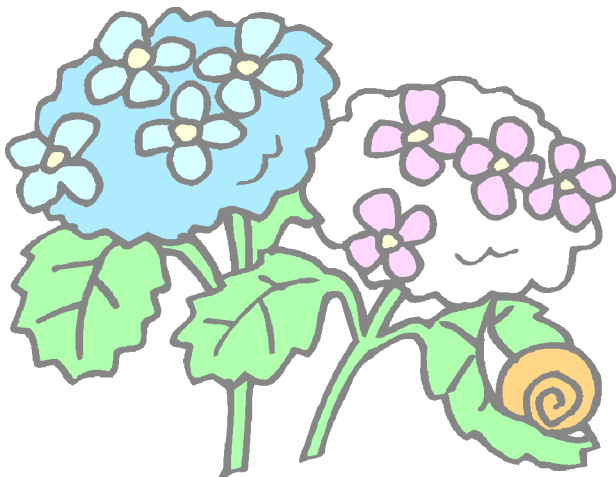
ご承知のように、全国的に医療の現状は医師、看護師不足や、救急医療のありかたなどに関して厳しいものがあります。当院においてもその影響を受け、児童精神科などの部門で医師の欠員状態があり、ご迷惑をおかけしていることを申し訳なく思っています。充足対策を進めているところですのでご理解をお願い致します。



コロニーの再編計画は、いよいよ本格的な実施の時期となりました。

中央病院では、今年度あらたに周産期医療部門を開設し診療を開始しました。

来年度以降は精神発達障害医療、在宅・地域医療支援や遺伝診療の各分野の充実を図る予定でいます。



在宅・地域医療支援に関しては、一般的健康管理など、地域でできることは地域の医療機関を利用していただき、専門的な医療はコロニーでと、機能分担を一層進めて行きたいと考えております。患者様には地域でかかりつけ医をもたれるよう勧めているところですのでご理解とご協力をお願い致します。

脳性まひの痙縮に対する注射や手術療法も選択できるよう包括的な取り組みを行っています。

今年も引き続き、患者様の立場に立って安全で安心できる医療の提供に努め、医療・看護の一層の充実をめざしますのでよろしくお願い致します。

### 病院の理念と基本方針

#### 理念

私たちは  
成長や発達に支援を必要とする人たちに、  
最善の医療を提供するように努めます。

#### 基本方針

- 心とからだの成長・発達に影響する子どもの疾患を総合的に診断し、予防と最新の治療を専門的に行います。
- 胎児期から成人までを対象とし、患者さんの目線に立ったやさしい安心できる治療を行います。
- 患者さんが自立した生活ができるよう、在宅支援や地域との医療連携を推進します。
- 成長・発達に影響する病気の原因追究および治療法の開発を、発達障害研究所やこばと学園と協力して進めます。

# コロニー中央病院サービス評価委員会とは

平成 19 年度まで実施していたサービス評価委員会のことを紹介させていただきます。

「患者さんに提供する医療サービス全般にわたり外部より評価を受けサービスの向上につなげることを目的に、院長の諮問機関として患者さん、家族および第三者よりなるサービス評価委員会が設置されました。

平成 16 年より年 2 回開催し 毎回各委員会の方々、(患者さんおよび家族 4 名、外部医療関係者、外部学識経験者、中央病院サービス向上委員会の正、副委員長) から活発なご意見を頂き、有意義な委員会を持つことができました。

内容は患者さんへのサービス面を含めた病院の半期ごとのまとめを報告し、御家族および医療、療育関係の外部委員の方々より直接評価、ご意見を頂き、病院運営にいかしてきました。

たとえば、中央病院では平成 17 年 11 月から 19 年 1 月にかけて配管工事が行われ、患者様にご迷惑をおかけしました。その際にもサービス評価委員のご意見を参考に、院長から患者さんに対して、病棟や外来の移動先に関する説明や、患者さんご家族からのご要望をお聞きする機会をつくることができました。

平成 19 年 4 月～20 年 3 月までのご意見・苦情は、計 32 件ありました (グラフ参照)。

その内訳は、接遇 8 件、外来関係 6 件、駐車場関係 4 件、設備・構造関係 4 件、院内システム関係 3 件、治療・訓練関係 2 件、食事関係 2 件、看護関係 1 件、その他 2 件になりました。

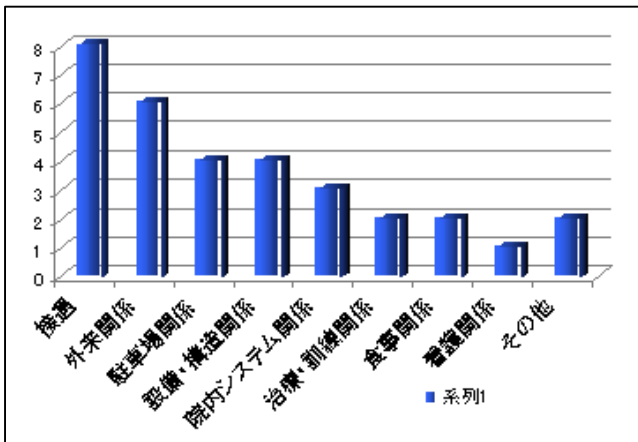
患者さんや御家族からの貴重なご意見に対し関係者より、事情を聞き、できる範囲での回答をさせていただきました。

なお、外来待ち時間調査、接遇アンケート調査結果については、コミュニケーションボードに掲示しました。

各回とも、患者様代表の 4 名の方と外部委員が参加され、バランスの取れた貴重なご意見を述べられ、有意義な委員会でありました。

今後も患者さん御家族が少しでも快適に利用して頂ける病院となるように、ボランティアサービス向上委員長として微力ながら努力していきたいと思っております。

看護部長 大矢 ふじゑ



## 受診サポートカード

心身の発達に障害のある方と地域の医療機関とのコミュニケーションの向上に役立つよう右図の様な「受診サポートカード」を作成し、平成 19 年 10 月より運用が開始されました。

- ・ カードは重症心身障害児・者用と知的障害児・者用との二種類があります。
- ・ カードは A5 サイズで表裏印刷されており、中央で折ると 4 ページになります。
- ・ 重症心身障害児・者用では、障害の種類・日常の状態・コミュニケーションの方法・受診に際して医療機関にお願いしたいこと・普段使っているお薬などを記載することができます。
- ・ 記入する際に参考となるように、記入例をあらかじめ作成し、カードを配布する時に一緒にお渡ししています。
- ・ 本人または保護者が記入して、地域の医療機関を受診する際に受付時に提示します。
- ・ 診察前にカードに記載された内容が既に把握され、従前より円滑な診療が受けられるようになることが可能となります。

**受診サポートカード**  
—重症心身障害児(者)用—

医療機関の皆様へ  
このカードは、医療機関と心身の発達に障害のある方とのコミュニケーションの向上に役立てていただくために、障害の種類、特徴、コミュニケーションの手帳などが記載されています。是非、診療の際にご利用ください。  
重症心身障害児(者)用

(本人または保護者が記入してください)

氏名 : \_\_\_\_\_

性別 : 男 ・ 女

生年月 : 西暦 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日生

連絡先

① 自宅

住所 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

② 緊急連絡先 ( \_\_\_\_\_ )

住所 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

1



4月より当院に赴任してこられた医師を紹介いたします。

	<p><b>1 出身地</b> 愛知県安城市  <b>2 前任機関</b> 名古屋第一赤十字病院 産婦人科  <b>3 趣味・特技</b> フルートを吹くこと、洋蘭を栽培すること  <b>4 コロニーの印象</b></p>
<p>産婦人科 久野尚彦医師</p>	<p>これまではずっと都会の喧噪の中で仕事をしてきましたが、もともと植物好きですので、ウグイスの鳴く、緑に囲まれた落ち着いた環境に癒されております。中央病院は、古くて小規模で様々な制約があるハードを、厳しくは体系化されておらず自由に裁量幅があるソフトで凌いでいる、という印象ですね。                  中央病院の産婦人科は、県立病院初の産科のポジションです。私は周産期医学、先天異常学、遺伝学の方面に興味を持って仕事をしてきましたが、まずはコロニーに於けるコロニーらしい産婦人科の仕事を模索し、立ち上げを行なって行きたいと考えております。</p>
<p><b>1. 出身地</b> 愛知県岡崎市                  出生はアメリカ・サンフランシスコですが首もすわらないうちに帰国したので全く記憶はありません。  <b>2. 前任機関</b> 名古屋掖済会病院  <b>3. 趣味・特技</b> これといった特技はありませんが食べ歩き・飲み歩きが趣味です。  <b>4. コロニーの印象</b></p>	
<p>当直あけの朝はウグイスの声で始まるというすばらしい自然環境（院内でも種々の生物を見かけますが・・・）には驚きました。また、初めての公立病院ということもあるのですが、いろいろな面で今までの病院との文化の違いにはいまだにとまどいの連続です。未熟者ですのでご迷惑をかける場面が多々あると思いますが、ご指導のほどよろしくお願ひします。</p>	<p>新生児科 山本啓之医師</p>
	<p><b>1 出身地</b> 静岡県藤枝市  <b>2 前任機関</b> あいち小児保健医療総合センター  <b>3 趣味・特技</b> 水泳、カポエイラ  <b>4 コロニーの印象</b>                  障害者が多い分前任地との違いを感じていますが、以前青い鳥医療福祉センターに勤務していた経験を思い出しつつ頑張ります。</p>
<p>運動平衡機能科 古橋範雄医師</p>	<p>ご本人の希望によりプロフィールのご紹介は省略させていただきます。</p>
<p>小児神経科 中村 麗亜医師</p>	

## バイオリンコンサート



日時 7月12日(土)午後2時～  
 場所 外来プレイルーム  
 今年も生のバイオリン演奏があります。  
 山田様ほか7名のご好意により今年で2回目の演奏会です。楽しい時をともに過ごしましょう。  
 参加自由です。

